

注3 **大学番号：私195**

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

明治国際医療大学 保健医療学部 救急救命学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明治東洋医学院
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	法人本部
職名・氏名	ケイエイクカクシツ 経営企画室 タケシマ リョウ 竹嶋 亮
電話番号	0771-72-1231
（夜間）	0771-72-1184
F A X	0771-72-1040
e-mail	r_takeshima@meiji-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<救急救命学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治東洋医学院

(2) 大学名

明治国際医療大学

(3) 大学の位置

〒629-0392

京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニグチ カズヒコ) 谷口 和彦 (平成26年6月)		
学長	(イワイ ナオミ) 岩井 直躬 (平成25年4月)		
学部長	(オカモト タケマサ) 岡本 武昌 (平成24年4月)		
学科長等	(ヒグチ トシヒロ) 樋口 敏宏 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 救急救命学科 学士(救急救命学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 () []								0.8倍	
志願者数	56 () []	0 () []								
受験者数	56 () []	0 () []								
合格者数	50 () []	0 () []								
B 入学者数	40 () []	0 () []								
入学定員超過率 B/A	0.8									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	40 [0] (-)	— [-] (-)	[] ()						
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	40 [0] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	40 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		%
合 計	40 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 救急救命学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間と社会	大学の教育と研究	1前	1			1					兼 4 兼 3	教育課程充実のため担当者増(29) オムニバス 就任辞退に伴う担当教員の変更(29) 学科運用上による担当教員の変更(29)
	心理学	1後		1							兼 1	
	コミュニケーション論	1前	2								兼 1	
	日本国憲法(法学含む)	3前		2							兼 1	
	現代国語読解	1前	1								兼 1	
	伝統医学の歴史と哲学	1後	1								兼 1	
	基礎ゼミ	1前	2			1					兼 0 兼 1	
	キャリアデザイン	1後		1							兼 1	
	キャリア教育Ⅰ	2前		2							兼 1	
	キャリア教育Ⅱ	3前		2							兼 1	
	キャリア教育Ⅲ	4前		2							兼 1	
	生活と環境	1前		1							兼 1	
学習技法	1前	1								兼 1		
自然科学	物質と自然の科学	1前		2							兼 1	就任辞退に伴う担当教員の変更(29) 就任辞退に伴う担当教員の変更(29) 教育課程充実のため担当者増(29)
	生き物の科学	1前	2			1					兼 1	
	物質の反応	1後		2							兼 1	
	データ解析法	1前		1							兼 2 兼 1	
言語と情報	英語Ⅰ	1前		1							兼 1	就任辞退に伴う担当教員の変更(29) 教育課程充実のため担当者増(29) 共同
	英語Ⅱ	1前		1							兼 1	
	医療人のための英語Ⅰ	1後		1							兼 1	
	医療人のための英語Ⅱ	1後		1							兼 1	
	英語コミュニケーション	1後		1							兼 1	
	中国語	1前		1							兼 1	
	フランス語	1前		1							兼 1	
	手話	2前		1							兼 1	
	情報科学	1前	1								兼 3 兼 2	
医療情報学	1後		1							兼 1		
医学教養	生命倫理	1前	1								兼 1	就任辞退に伴う担当教員の変更(29) 負担軽減に伴う担当教員の変更(29) 集中
	医学概論	1後	1								兼 1	
	医療コミュニケーション学	1後	1								兼 1	
	看護学概論	1後		2							兼 1	
	介護実習	2前	1			1			2		兼 1	
	東洋医学概論	2後	2								兼 1	
	東洋医学診断学・治療学	3前		2							兼 1	
	包帯・固定学	4前		2							兼 1	

健康とスポーツ	スポーツバイオメカニクス	4前		1						兼1	兼任辞退に伴う担当教員の変更・平成29年度のみ助手は1名体制(29) 集中・共同 兼任辞退に伴う担当教員の変更(29)	
	生活習慣病とその予防	3後		1						兼2		
	スポーツボランティア	3後		1			2					
	健康科学	2前		2						兼1		
	フィールドワーク実習	2前	1							兼1		
	ライフセービング実習	1前	2				1		1 2	兼2		
	ウォーターレスキュー実習	2前	1				2		2	兼2		
	マウンテンレスキュー実習	2後	2				2		2	兼2		
	健康スポーツ実習Ⅰ	1前		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅱ	1後		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅲ	2前		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅳ	2後		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅴ	3前		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅵ	3後		1						兼1		
	健康スポーツ実習Ⅶ	4前		1						兼1		
	スポーツ原理	2前		2						兼2		オムニバス
	スポーツと社会	2後		2						兼1		
	スポーツ心理学	2前		2						兼1		
	スポーツ生理学	2後		1						兼1		
	スポーツ医学基礎	2前		2						兼3		オムニバス
	スポーツ医学応用	2後		2						兼3		オムニバス
	トレーニング論	3前		2						兼1		
	トレーニング実習	3前		1						兼1		
	スポーツ指導論	3後		2						兼1		
	スポーツと保健栄養学	3後		2						兼2		オムニバス
	ジュニアスポーツ指導の実際Ⅰ	4前		1						兼1		
	ジュニアスポーツ指導の実際Ⅱ	4後		1						兼1		
	卒業研究Ⅰ	4前	2				6	3				
	卒業研究Ⅱ	4後	2				6	3				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	49	1	106	56	49	1	106	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—
2	該当なし	—	—	—	—	—
3	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—
2	該当なし	—	—	—	—	—
3	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	11,662㎡	— ㎡	— ㎡	11,662㎡				
	運動場用地	30,136㎡	— ㎡	— ㎡	30,136㎡				
	小 計	41,798㎡	— ㎡	— ㎡	41,798㎡				
	そ の 他	136,363㎡	— ㎡	— ㎡	136,363㎡				
	合 計	178,161㎡	— ㎡	— ㎡	178,161㎡				
(2) 校 舎	専 用	19,804㎡	— ㎡	— ㎡	19,804㎡				
	(19,804㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(19,804㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	23室	9室	18室	2 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学部 救急救命学科			10 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での 特定不能なため、 大学全体の数 機械・器具及び標本については、平成28年度末で使用不能な器具等の処分を行ったため、減少となった	
	保健医療学部 救急救命学科	79,202 [17,857] 76,319 [17,845] (76,402 [17,809]) (75,671 [17,793])	307 [121] (307 [121])	18 [18] (18 [18])	2,668 2,579 (2,608) -(2,579)	6,866 7,540 (6,506) (7,180)	345 386 (345) (386)		
	計	79,202 [17,857] 76,319 [17,845] (76,402 [17,809]) (75,671 [17,793])	307 [121] (307 [121])	18 [18] (18 [18])	2,668 2,579 (2,608) -(2,579)	6,866 7,540 (6,506) (7,180)	345 386 (345) (386)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
	465㎡	94	78,000						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	7,476㎡	テニスコート4面 ゴルフ練習場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の図書購入費及び設備購入費については、仕様等の見直しに伴い減額となった
		教員1人当たり研究費等	170千円	170千円	図書購入費	936 2,000千円	850千円	850千円	
		共同研究費等	2,438千円	2,438千円	設備購入費	126,725 139,460千円	14,000 6,210千円	6,210千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	開設年度の設備購入費については、教育充実のために増額となった	
		1,600千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、寄附金等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	明治国際医療大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《 A C 対象学部等 》									
保健医療学部									
救急救命学科	4	50	-	200	学士 (救急救 命学)	0.80	平成29年度	京都府南丹市日吉町 保野田ヒノ谷6番地1	
鍼灸学部									
鍼灸学科	4	50	-	260	学士 (鍼灸 学)	0.72	昭和58年度	同上	
保健医療学部									
柔道整復学科	4	40	-	200	学士 (柔道整 復学)	0.85	平成16年度	同上	
看護学部									
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護 学)	1.17	平成18年度	同上	
鍼灸学研究科									
鍼灸学専攻	2	8	-	16	修士 (鍼灸 学)	0.43	平成3年度	同上	
臨床鍼灸学専攻	2	8	-	16	修士 (臨床鍼 灸学)	0.43	平成23年度	同上	
鍼灸学専攻 (通信教育課程)	2	16	-	31	修士 (鍼灸 学)	1.00	平成23年度	同上	
鍼灸学専攻	3	4	-	12	博士 (鍼灸 学)	0.53	平成6年度	同上	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 救急救命学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授(学科長)	樋口 敏宏 (60)	平成29年4月	大学の教育と研究 救急症候学Ⅲ 疾病救急医学Ⅳ 疾病救急医学Ⅵ 救急処置実習A-Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専任	教授	浅沼 博司 (51)	平成31年4月	救急症候学Ⅱ 救急処置実習A-Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専任	教授	脇谷 滋之 (60)	平成30年4月	疾病救急医学Ⅲ 救急処置実習A-Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専任	教授	神山 順 (49)	平成29年4月	救急症候学Ⅳ 救急処置実習A-Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専任	教授	鳴瀬 善久 (51)	平成29年4月	生き物の科学 人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 人体構造学Ⅲ 生化学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	鳴瀬 善久 (51)	平成29年4月	生き物の科学 人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 人体構造学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	負担軽減の観点から変更 (29)
					兼任	講師	辻村 敦 (53)	平成29年4月	生化学	
専任	教授	岡田 薫 (51)	平成29年4月	人体機能学Ⅰ 人体機能学Ⅱ 人体機能学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専任	准教授	植田 広樹 (44)	平成29年4月	救急医学概論 救急処置概論 救急処置各論 都市型救助実習 救急処置実習A-Ⅰ 救急処置実習A-Ⅱ 救急処置実習A-Ⅲ 救急処置実習A-Ⅳ 救急処置実習B (病院内実習) 救急処置実習C (救急車同乗実習) 救急処置実習D (海外実習) スポーツボランティア ライフセービング実習 ウォーターレスキュー実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

専任	准教授	木内 賢一 (48)	平成29年4月	介護実習 救急医学各論 患者搬送技術論 都市型救助実習 救急処置実習 A-I 救急処置実習 A-II 救急処置実習 A-III 救急処置実習 A-IV 救急処置実習 B (病院内実習) 救急処置実習C (救急車同乗実習) スポーツボランティア ウォーターレスキュー実習 マウンテンレスキュー実習 卒業研究 I 卒業研究 II						
専任	准教授	金子 洋 (55)	平成29年4月	救急処置概論 救急処置各論 都市型救助実習 救急処置実習 A-I 救急処置実習 A-II 救急処置実習 A-III 救急処置実習 A-IV 救急処置実習 B (病院内実習) 救急処置実習C (救急車同乗実習) マウンテンレスキュー実習 卒業研究 I 卒業研究 II			後任未定			平成28年11月 金子洋准教授就任辞退 (29) 「後任未定」 専任教員採用予定で公募中 1年次開講の「都市型救助 実習」は、共同での授業で 他に担当教員がいるため、 支障はない。
					兼任	講師	千田 いずみ (30)	平成29年4月	救急処置実習A-I	就任辞退に伴う教員の変更 (29)
専任	講師	千田 いずみ (33)	平成32年4月	救急処置実習 A-IV						
専任	講師	坪倉 寛明 (55)	平成29年4月	救急医学概論 救急医学各論 都市型救助実習 救急処置実習 A-I 救急処置実習 A-II 救急処置実習 A-III 救急処置実習 A-IV 救急処置実習 B (病院内実習) 救急処置実習C (救急車同乗実習)						
兼任	教授	北小路 博司 (67)	平成29年4月	大学の教育と 研究						
兼任	教授	岡本 武昌 (74)	平成29年4月	大学の教育と 研究 スポーツバイオ メカニクス						
兼任	教授	山下 八重子 (60)	平成29年4月	大学の教育と 研究 看護学概論 疾病救急医学 V	兼任	教授	山下 八重子 (60)	平成29年4月	大学の教育と研究 疾病救急医学V	負担軽減の観点から変更 (29)
				兼任	准教授	仲口 路子 (54)	平成29年4月	看護学概論		
兼任	教授	林 知也 (48)	平成29年4月	基礎ゼミ スポーツ生理学	兼任	教授	林 知也 (48)	平成29年4月	スポーツ生理学	担当を変更 (29)
				専任	教授 (学科長)	樋口 敏宏 (60)	平成29年4月	基礎ゼミ		

兼任	教授	都築 英明 (63)	平成29年4月	物質と自然の科学 物質の反応	兼任 講師	赤澤 淳 (42)	平成29年4月	物質と自然の科学	退職に伴う変更 (29)
					兼任 講師	千葉 章太 (45)	平成29年4月	物質の反応	
兼任	教授	梅田 雅宏 (60)	平成29年4月	データ解析法 情報科学 医療情報学					
兼任	教授	石崎 直人 (52)	平成29年4月	医学概論	兼任 教授	北小路 博司 (67)	平成29年4月	医学概論	退職に伴う変更 (29)
兼任	教授	和辻 直 (54)	平成31年4月	東洋医学診断学・治療学					
兼任	教授	糸井 (渡邊) マナミ (52)	平成30年4月	免疫・感染症学					
兼任	教授	矢野 恵子 (61)	平成31年4月	疾病救急医学V					
兼任	教授	杉山 (木村) 敏宏 (64)	平成31年4月	疾病救急医学V					
兼任	教授	桂 昌司 (55)	平成31年4月	薬物療法学					
兼任	教授	山田 潤 (51)	平成32年4月	疾病救急医学VI					
兼任	教授	大藪 秀昭 (60)	平成32年4月	疾病救急医学VI					
兼任	教授	苗村 建慈 (65)	平成30年4月	附属病院実習 生活習慣病とその予防					
兼任	教授	西尾 庄平 (64)	平成32年4月	健康スポーツ実習VII					
兼任	教授	糸井 啓純 (64)	平成30年4月	スポーツ医学基礎 スポーツ医学応用					
兼任	准教授	渡邊 勝之 (52)	平成29年4月	伝統医学の歴史と哲学	兼任 教授	角谷 英治 (55)	平成29年4月	伝統医学の歴史と哲学	退職に伴う変更 (29)
兼任	准教授	川村 茂 (45)	平成29年4月	医療コミュニケーション学					
兼任	准教授	斉藤 宗則 (47)	平成30年4月	東洋医学概論					
兼任	准教授	池本 敬博 (60)	平成29年4月	生活習慣病とその予防 フィールドワーク実習 健康スポーツ実習II スポーツ原理					
兼任	講師	渡邊 康晴 (46)	平成29年4月	情報科学					
兼任	講師	木村 啓作 (39)	平成30年4月	スポーツ医学基礎 スポーツ医学応用					
兼任	助教	泉 晶子 (34)	平成32年4月	包帯・固定学					
兼任	助教	中才 幸樹 (45)	平成30年4月	健康スポーツ実習III 健康スポーツ実習VI スポーツ原理					
兼任	助教	吉田 行宏 (36)	平成30年4月	スポーツ医学基礎 スポーツ医学応用					
					兼任 教授	苗村 建慈 (64)	平成29年4月	大学の教育と研究	教育課程充実のため担当者増 (29)
					兼任 助教	河合 裕子 (35)	平成29年4月	データ解析法 情報科学	教育課程充実のため担当者増 (29)
兼任	講師	野田 圭介 (25)	平成29年4月	心理学					
兼任	講師	中澤 鮎美 (29)	平成29年4月	コミュニケーション論					

兼任	講師	山谷 真 (45)	平成29年4月	日本国憲法 (法学含む) キャリアデザイン キャリア教育 I キャリア教育 II キャリア教育 III						
兼任	講師	下川 篤 (65)	平成29年4月	現代国語読解						
兼任	講師	前中 一晃 (76)	平成29年4月	生活と環境						
兼任	講師	河井 正隆 (55)	平成29年4月	学習技法						
兼任	講師	橋本 貴美子 (68)	平成29年4月	英語 I						
兼任	講師	中川 光 (59)	平成29年4月	英語 II	兼任	講師	浅野 敏朗 (68)	平成29年4月	英語 II	担当を変更 (29)
兼任	講師	浅野 敏朗 (68)	平成29年4月	医療人のための 英語 I 医療人のための 英語 II						
兼任	講師	Benjamin Quinlivan (33)	平成29年4月	英語コミュニ ケーション						
兼任	講師	中山 肯英 (59)	平成29年4月	中国語						
兼任	講師	FAUCONNIER FRANCK (45)	平成29年4月	フランス語						
兼任	講師	高井 小織 (45)	平成30年4月	手話						
兼任	講師	佐別当 義博 (66)	平成29年4月	生命倫理						
兼任	講師	廣瀬 真理 (66)	平成30年4月	病理学						
兼任	講師	白川 透 (33)	平成30年4月	救急症候学 I 救急救命学総 合演習 I						
兼任	講師	田中 秀治 (60)	平成31年4月	外傷救急医学 I 外傷救急医学 II 救急医学各論 救急処置実習 D						
兼任	講師	後藤 奏 (29)	平成30年4月	環境障害と中 毒 救急救命学総 合演習 II マウンテンレ スキュー実習						
兼任	講師	北村 誠 (68)	平成30年4月	救急医学概論 ※ 救急処置実習 A-IV						
兼任	講師	高階 謙一郎 (59)	平成32年4月	災害救急医学						
兼任	講師	塩野 茂 (64)	平成32年4月	救急処置実習 A-IV						
兼任	講師	喜熨斗 智也 (34)	平成29年4月	疾病救急医学 II 救急救命学総 合演習 III ライフセーピ ング実習						
兼任	講師	森 利夫 (64)	平成30年4月	健康科学						
兼任	講師	長谷川 瑛一 (29)	平成29年4月	ライフセーピ ング実習	兼任	講師	田中 秀治 (58)	平成29年4月	ライフセーピ ング実習	担当を変更 (29)
兼任	講師	高橋 宏幸 (37)	平成30年4月	疾病救急医学 I マウンテンレ スキュー実習						

兼任	講師	山元 正史 (68)	平成29年4月	健康スポーツ 実習 I	兼任	講師	村川 増代 (47)	平成29年4月	健康スポーツ実 習 I	担当を変更 (29)
兼任	講師	吉田 勲生 (43)	平成30年4月	健康スポーツ 実習IV						
兼任	講師	松久 ミユキ (73)	平成31年4月	健康スポーツ 実習 V						
兼任	講師	山本 世志男 (72)	平成30年4月	スポーツと社 会 スポーツ心理 学						
兼任	講師	三浦 重則 (58)	平成31年4月	トレーニング 論 トレーニング 実習						
兼任	講師	亥野 敦雄 (74)	平成31年4月	スポーツ指導 論 ジュニアスポ ーツ指導の 実際 I ジュニアスポ ーツ指導の 実際 II						
兼任	講師	東 あかね (63)	平成31年4月	スポーツと保 健栄養学						
兼任	講師	岩佐 真代 (32)	平成31年4月	スポーツと保 健栄養学						

- (注)
- ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6	3	2	0	11	4	2	1	0	7	6	2	2	0	10
(4)	(3)	(1)	(0)	(8)						[0]	[△1]	[0]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
60 歳	1 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	金子 洋	必修	救急処置概論	③	一身上の都合のため就任辞退 (29)	
			必修	救急処置各論	③		
			必修	都市型救助実習	③		
			必修	救急処置実習A-I	③		
			必修	救急処置実習A-II	③		
			必修	救急処置実習A-III	③		
			必修	救急処置実習A-IV	③		
			必修	救急処置実習B (病院内実習)	③		
			必修	救急処置実習C (救急車同乗実習)	③		
			必修	マウンテンレスキュー実習	③		
			必修	卒業研究 I	③		
			必修	卒業研究 II	③		
		該当なし					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	12 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	0 科目	計	12 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1 人	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	12	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	12	科目	計	0	科目	計	12	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記1名の専任教員予定者は、救急医療の現場において豊富な実務経験を有しており、病院前救急医療に関する高度な専門知識及び技術を教授する上で適任者として就任する予定であったが、一身上の都合により、本学への就任が不可能になったものであり、やむを得ない理由によるものと判断した。なお、学科開設前の就任辞退でもあり、学生へは周知していない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	・鍼灸学部鍼灸学科の 定員充足率の平均が 0.7倍未満となっている ことから、学生確保 に努めるとともに、入 学定員の見直しについ て検討すること。	留意事項	・平成27年度に入学定員を 80人から50人とした年度以 降の入学定員充足率は、平 成27年度は0.72、平成28年 度は0.96、平成29年度は 0.86と推移しており、過去4 年間の平均入学定員超過率 も0.72（届出時対比+0.03） と改善している。	—
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	—	—	—	—
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	—	—	—	—
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	—	—	—	—

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 救急救命学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学の教学の理念及び各学部等の教育目標に基づくファカルティ・ディベロップメント(本学及び本学の教員が、教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。)を推進することを目的として、FD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>委員会は年間3回程度実施し、各学部・医学教育研究センターの教員と事務職員が委員として構成されている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>委員会は、次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。</p> <p>(1) FD推進のための企画、立案、実施及び調整等に関すること。 (2) FDに関する報告書等の作成に関すること。 (3) その他FDの推進に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①FD研修会 ②授業評価アンケート</p> <p>b 実施方法</p> <p>①学内外の講師による講演会を実施 ②前後期の授業終了時に、全学生に対して実施しており、アンケートの集計結果は学内のwebサイトで周知報告している。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>①年1～2回開催、専任教員全員を参加対象としている。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>①研修会を通じて共有した優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>前後期の各授業終了時に授業評価アンケートを実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p> <p>教員及び学生へはwebサイトで集計結果を公表している。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の設置の目的は、病院前救急医療において高度な専門性を備えた優れた救急救命士の養成を行なうとともに、病院前の救急救命学の学術研究の進展への寄与並びに社会への貢献を志向することである。

初年度である平成29年度入試においては、学内でのオープンキャンパスの開催、全国向けには高校訪問や新聞掲載、資料請求者に対するパンフレットの配布等の広報活動を行ったが、定員を充足することができなかった。

今後平成30年度入試以降、本目的を達成するために志願者確保に傾注したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年6月1日公表予定（平成28年度版）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、京都府を中心とした近隣大学関係者（35件）及び京都府教育委員会及び京都市教育委員会、本学院理事に各1冊を配布

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し認証された（平成27年4月～平成34年3月）
- ・次回平成34年3月までに評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年5月31日頃)